

問 村内空き家の現状と今後の対策は

答 引き続き、適正管理を求めていく



新政とうかい
あらい ますみ 議員

問 現在の状況と今後の対策について伺う。
答 本村における空き家の状況については、平成30年10月1日現在、208戸存在している。これまでに、解体やリフォーム等により、合計56戸の空き家が、解消している状況である。今後も引き続き、所有者等に対し、空き家の適正な管理を求め、管理されていない空き家の削減に努める。



踏切近くの長期間放置された空き家

答 当該空き家について、職員による現地調査を実施した。引き続き、適正管理を求めていく。なお、相続放棄をしている場合には、民法第940条では、相続放棄中の財産管理の継続が規定されていることから、相続財産の管理を強く求めていく。

問 小規模保育を実施する必要あり

答 即効性ある小規模保育を進める



新政とうかい
みちひろ 吉田 議員

問 子育て支援を最重要課題としているが、子どもを預けることができないお母さんから、「東海村は子どもに優しい」と言われている。既存保育施設での定員拡大が望めないのであれば、0歳児から2歳児対象の「小規模保育」を行わなければ解決できない。今後の対応を伺う。
答 待機児童を少しでも減らすためには何よりも保育の受け皿の確保が必要だが、面積基準上、既存の保育施設ではこれ以上の定員拡大は望めない。その



子育てと仕事の両立を願うお母さん

ため、入所待ちの大半である0歳児から2歳児対象の小規模保育事業の実施について検討を進める。
問 山田村政において「子育て支援」は最重要施策として進めているが、さらなる「選択と集中」を行い、子育て支援に資源を集中する必要がある。村長の見解と決意を伺う。
答 即効性のある小規模保育を進める。保育士の確保も大事なことで、待遇改善も含め対応する。出生数が減っており、アンケートで潜在ニーズを調査し、手を打っていく。